

2. 制限物質リスト (RSL)

制限物質リスト (RSL) の目的は、フットウェアとアパレルのサプライチェーンから、有害な物質の使用を減らすことです。これには、AFIRMのRSLの範囲に示されるある種のアクセサリや用具類も含まれます。各ブランドは、サプライヤーや供給元、さらに社内の従業員が、それぞれの制限物質に関する要求を理解し、守ることができるように、独自のRSLを発行します。

なぜサプライヤーにとってRSLは重要なのか

AFIRMのRSLならびにブランド独自のRSLは、サプライヤーに対し、制限されている化学物質を設定しています。

AFIRMのブランドでは、サプライヤーに対して注文する場合、彼らのRSLを遵守するよう明確に依頼をします。全てのフットウェア、アパレル、アクセサリ、用具は、継続的にRSLの要求を満たすことが求められます。

AFIRMでは、サプライヤーはRSLの目的を理解し、それぞれの顧客のRSLの要求を満たすために、独自のプログラムを作り上げることを推奨します。

ブランドのRSLは一般的に、環境、健康、安全のリスク評価、製品が流通・販売される市場において現在および将来予期される法規制の要求事項、業界における最善手法などに基づいています。ブランドにRSLがある場合は、そのRSLに従うことが必要です。

各ブランドのRSLはさまざまです。あなたの顧客に、正しいリストを使っているか確認することが重要です。もし顧客がRSLを持っていないければ、AFIRM RSLを手始めに使うのもいいでしょう。

AFIRM RSLは、現在世界で法規制されている物質を記載しています。また、アパレルとフットウェア業界で最も効率的であるとされる制限値を記載しています。

AFIRM_RSLはこのURLで入手できます。

<http://afirm-group.com/afirm-rsl/>

この方針は、AFIRMのブランドだけでなく、メンバー外のブランドにも多く取り入れられています。



製造時制限物質リスト

RSLの要求に加え、ブランドには製造時制限物質リスト (MRSL) を遵守する方針を持つところがあります。MRSLは添加される全ての化学物質をカバーし、製品の製造に使用される物質を制限するものです。RSLは製品レベルの化学物質を制限したものですから、MRSLとは混同しないようにしてください。